

宮川の風 第58号

平成30年9月21日（金）発行
宮川小学校校長室からのたより

2学期の始業式の「校長先生の話」の中で、4つのことを子どもたちに伝えました。

- み** みんな仲良く ひとりぼっちゼロ
- や** やるべきことをやる 忘れものゼロ
- か** からだを大事にする むし歯ゼロ
- わ** 分かった！の学習 あきらめゼロ

学力調査の結果から、本校の子どもたちは、根気強く考えることを苦手としている傾向があることが分かりました。難易度が高い問題については、答を全く書かない「無答」が多い一方、検査時間については「あまった」「十分だった」の結果が出ていたのです。この傾向は、決して学力だけの問題ではないことも懸念されます。あきらめずに根気強く自分なりの考えで答を見つけようとする姿勢が必要です。たとえ間違った答だったとしても、考える過程が次につながるのです。

裏面のお話をお読みください。

自分の小さいころの思い出が浮かんできました。鉄棒で「逆上がり」の練習をしているとき、何回やってもできず、手にはつぶれたまめができていました。しかし、さっきまでできなかった逆上がりが「ひょいっ」とできたのです。不思議な感覚になったことを覚えています。30回でできることを29回であきらめてしまっただけでできないままです。加藤氏の言葉にある「成功とは、成功するまでやめないこと」を心に刻みたいものです。

今、子どもたちはいろんなことに挑戦しています。国語・算数・音楽・体育などの学習面だけでなく、何事に対しても「あきらめない心」で向かっていく気持ちを持ち続けてほしいものです。そのことが自信につながり、新たな自分の力を発見することにつながると思います。

あきらめずに前へ！前へ！

運動会の見所 その1

多くの時間とエネルギーを費やしている運動会の練習ですから、全てが見所ではあるのですが、特に、ここを見てほしいという点を勝手ながら挙げてみます。

1 開会式・閉会式の態度

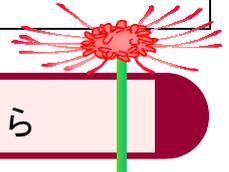
身体の向きはどこ？礼のタイミングは？運動会の歌や校歌、万歳三唱は元気よく（ここではミッキーの声は封印）、国旗などの掲揚・降納のスピードは？など、指導のポイントは随所にあります。引き締まった空気を醸し出すことが重要です。

2 表現（ダンス）・組体操

各学年で最も多くの時間をかけて練習するものです。動きの大きさや楽しくリズムに乗る動き、そして、キメのポーズなど見逃すことはできません。低・中学年は流行の歌にのって、5・6年生は宮川小伝統の演技です。

3 応援合戦

両チームとも応援団を中心にまとまりのある応援を繰り広げます。応援団は練習を徹底して行っています。その勢いがチーム全体に響き、迫力ある応援合戦になります。



ある日のできごとから

15日（土）に皇徳寺台西町内会の敬老祝賀会がありました。たくさんのお年寄りが参加される中、歌や踊り、そして、吹奏楽部の素晴らしい演奏などが披露されました。また、配られたお菓子の袋には、子どもたちからの心温まるメッセージが入っていました。参加者の中に、各あいご会長の子どもたちもいました。ゲームコーナー（輪投げ）でお年寄りを楽しませたり、お楽しみ抽選会のお手伝いをしたりと活躍していました。来賓の方々を含めてかなり年齢層の高い祝賀会に、あいご会長や吹奏楽部の子どもたちの姿があることで、祝賀会も一気に明るくなるように感じました。

日頃、地域の方々に見守られながら過ごしている子どもたちからの恩返しことができました。

（文責；鹿児島市立宮川小学校長 松永幸二）